

議員の尊敬する政治家に対する評価は何で決まるのか
2023年2月8日

1. 研究テーマ

政治家は、国民の声や社会の変動などに着目し社会をより良くするためにさまざまな施策を考え、実行し、変革を起こしている。過去に遡ると、その施策を立案したことで社会に大きな影響を与え、歴史に名前を残した政治家も多数存在する。そのような偉人が存在するからこそ、今現在彼らと同じ立場にいる者は憧れを抱いたり、その考え方に共感したりして「尊敬する人」となることもある。そこで、都議会議員が尊敬する政治家に対する評価は何で決まるのかについて論述したい。会派というのは、ある程度同じ意見を持った者の集まりであるので、その属性に所属している限り、ある議員に対して同じ評価をつけることが考えられる。さらに、その発言や活動の特殊性からメディアによく取り上げられる政治家に対してどのような評価をするのかについても述べたい。

2. 先行研究

尊敬できる政治家とは何か。様々な面から尊敬できる政治家が定義づけられている中で、リーダーシップに焦点を当てた定義が存在する。山本(2020)によると、様々な学者によって分析がなされてきたがリーダーシップというのは決まった型はなく、特に政治的リーダーシップに関してもたくさんの研究がなされてきたもののはっきりとした型はない。さらに、民主主義の国では選挙でリーダーが決まることを示し、そこで選ばれる指導者というのは「同輩中の第一人者」であるという。山本(2020)の調べによると、集団形成の理論を検討した上で指導者が選ばれる時は、その人の支持者が持っている考えの特徴と合致するものを提示した時に受け入れられるという。

では、政治家になるためにはどのような能力が必要とされているのだろうか。河原(2010)は、ウェーバーの「指導者諸資質」という「政治への天職」意識を持った者の人格について論じている。その人間類型とは、まず、政治権力を行使することがある領域で正当化された物理的暴力手段を行使するということであるという現実に立脚した認識を持っていること、自らの仕事に情熱を持っており、問題を客観的に捉える力や責任感を持つこと、そして、「倫理的パラドクス」つまり、人間の行動と考えがいつも繋がっているというわけではないことを理解し、それがしばしば政治に影響することがあるという認識を持っていることが政治に関わる人が持つべきものであるという。このような能力を持ち合わせている政治家が人々を率いる力をもち、その性質を理想としている者がいるのではないか。

尊敬する議員として名を挙げられている人の例として挙げられるのがネルソン・マンデラである(前田・平野 2015)。その理由として、彼の発揮したリーダーシップが挙げられる。ネルソン・マンデラは、学生の頃から自由主義者としてアパルトヘイト体制の解体を主張し、国家反逆罪で終身刑判決を下されたこともあったが、その後、釈放された。その後、政治家としてアパルトヘイト体制の解体と民主化交渉を実現させるために様々な政策を打ち出し、アフリカ政治家として初めて画期的な政策を打ち出し、人々をひきつけ、今の南アフリカの経済や企業の基盤を作り上げ、素晴らしいリーダーシップを発揮した。彼のように「融和や統合を体現できる政治家」はある一つの代表的な政治家としての人格である。

3. 仮説

先行研究をもとに、3つの仮説を立てたい。先行研究で、山本(2020)が支持者がある人物をリーダーとして選出するときは、自分と同じ考えに近い人を受け入れると述べていることから、議員への評価には、イデオロギーが関連するということが、さらに、自分と同じ政党(会派)に所属している議員を高く評価するということを仮説として立てることができる。また、考えに賛同するということは、年齢や性別に関連性は見られないのではないか。理想とする議員を選ぶ際、その人が日本人であるか、現役であるか、それぞれを選んだ議員の間には何らかの関連性が見られることも考えられる。政治家はそれぞれ違ったリーダーシップ性(前田・平野 2015)や素質(河原 2010)を持っており、その能力を尊敬していることも考えられる。

4. データ、変数、分析手法

データは、「津田塾大学中条研究室2022年度第5回東京都議会議員調査」から得られた結果を用いて分析、仮説検証を行った。調査は、2022年10月14日から2022年11月20日にかけて東京都議会議員123名を対象に行われた。そのうち、有効回答と見做されたものは57件であり、質問の中で無回答であったものは除外、さらに、重複された回答はそのうちの1件に絞って検証を行った。

以下の表が上記の調査で行われた質問の一部で本研究の元のデータとする目的変数(表1参照)、説明変数(表2参照)である。また、自由回答設問で理想とする政治家として挙げられた政治家名は補遺を参照。

表1: 目的変数

質問	尺度
以下の人物は 政治家として あなたにとってどのくらい理想的でしょうか。以下の数直線を参考に、0（全く理想的ではない）から10（非常に理想的）の数字で最も近いものをお答えください。	0（全く理想的ではない）から10（非常に理想的）
あなたが理想とする政治家を1名お答えください。	政治家名を記入

表2: 説明変数

変数	尺度
年齢	連続変数
性別（男）	男=1, 女=0
イデオロギー	質問：異なる政治立場を表すとき、「保守」と「リベラル」、あるいは「右派」と「左派」などと表現することがあります。最も右派・保守的な立場を10、最も左派・リベラルな立場を0とした場合、あなたの政治的立場に最も近い数字をお答えください。0（右派）から10（左派）の11段階
所属党派	都民ファースト=1, その他=0 自由民主=1, その他=0 立憲民主=1, その他=0

これらの変数を使用して、以下の分析を行う。

- 1) 岸田文雄首相、小池百合子東京都知事、山本太郎議員(れいわ新撰組)、蓮舫議員(立憲民主党)の各議員に対する評価の重回帰分析
- 2) 自民党所属と岸田文雄首相、都民ファースト所属と小池百合子東京都知事、立憲民主党所属と蓮舫議員、の単回帰分析結果
- 3) 理想とする政治家が日本人であるか否か、現役であるか否かそれぞれを選んだ議員の共通点があるかを調査するロジスティック回帰分析

5. 記述統計

表3から6は、分析をする際に使うデータの記述統計の結果である。

表3: 各議員に対する評価(0-10)の平均値、中央値、最小値、最大値、標準偏差の表

	岸田文雄首相	小池百合子東京都知事	山本太郎議員	蓮舫議員
平均値	3.04	3.82	1.83	2.25
中央値	2	3	1	1.5
最小値	0	0	0	0
最大値	9	10	7	10
標準偏差	2.91	3.69	2.18	2.42

表3から、4人の中で最も平均値が低かったのが山本太郎議員で、平均値が最も高かったのが小池百合子東京都知事であることがわかった。各議員は最低評価0(全く理想的ではない)をつけられており、最大評価10(非常に理想的)をつけられた議員が小池百合子東京都知事と蓮舫議員であった。また、中央値に注目してみると、山本太郎議員が最も低く、次に蓮舫議員、岸田文雄首相と続き、最も数値が大きかったのが小池百合子東京都知事である。標準偏差をみると、山本太郎議員、蓮舫議員は岸田文雄首相、小池百合子都知事に比べて数値にばらつきがないことが読み取れた。さらに、小池百合子東京都知事が4人の中で最も数値にばらつきがあることがわかり、東京都議の中でも都知事に対して様々な評価がつけられていることがわかった。

表4: 理想とする政治家のうちの日本人と現役それぞれのカウントと割合の表

	人数	割合
日本人	33	85%
現役	24	62%
全体	39	100%

表4の結果より、理想とする政治家として挙げられた人物のうち85%が日本人であることが読み取れる。また、全体の62%が現役の政治家であることから、現在活躍されている政治家を理想としている人が回答者の半数以上を示していることがわかる。

表5:回答者の性別、所属会派の人数と割合の表

	人数	割合
男	38	67%
女	19	33%
ミライ	2	4%
共産	15	26%
公明	1	2%
自民	10	18%
都ファ	17	30%
無所属	4	7%
立憲民主	8	14%
全体	57	100%

回答者の67%が男性、33%が女性であった。さらに、都民ファースト所属の議員が全体の30%を占めており、公明党が2%で最も回答者が少なかった(表5)。

表6:イデオロギーと年齢の平均値、中央値、最小値、最大値、標準偏差の表

	イデオロギー	年齢
平均値	4.5	52.8
中央値	5	51
最小値	0	34
最大値	9	72
標準偏差	2.4	9.4

表6には、イデオロギーと年齢の平均値、中央値、最小値、最大値、標準偏差の数値が示されている。イデオロギーの平均値が4.5であることから、回答者全体が少し左派に寄った考えを持っていることがわかった。また、標準偏差は2.4でばらつきがあることが読み取れる。

年齢に関しては、平均値が52.8歳であり、標準偏差が9.4であることから回答者の年齢のばらつきが大きかったことがわかった。さらに、最小値と最大値に注目すると、最も若い人が34歳で、最も年配の人が72歳であることが読み取れる。

6. 分析結果

(1) 岸田文雄首相、小池百合子東京都知事、山本太郎議員、蓮舫議員の各議員に対する評価の重回帰分析結果

自分と同じ考えや目標を持つ者を高く評価する傾向があるので、その指標としてイデオロギーを説明変数とする。さらに、年齢、性別が評価に関係しないことを調べるために説明変数に加えた。表7から表10はその結果である。

表7: 岸田文雄首相に対する評価の重回帰分析

変数	係数	標準誤差	P値
年齢	0.03	0.03	0.32
性別（男）	1.76	0.73	0.02 *
イデオロギー	0.60	0.13	0.00 ***
切片	-2.61	1.99	0.19
決定係数	0.40		
サンプルサイズ	49		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

表7より、性別とイデオロギーが有意であるため、岸田文雄首相に対する評価は、性別と、特にイデオロギーとの関連が強いことが推測できる。

表8: 小池百合子東京都知事に対する評価の重回帰分析

変数	係数	標準誤差	P値
年齢	-0.01	0.05	0.89
性別（男）	1.14	1.10	0.30
イデオロギー	0.54	0.20	0.01 *
切片	1.10	3.02	0.72
決定係数	0.13		
サンプルサイズ	49		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

表8より、イデオロギーが有意である。よって、小池百合子東京都知事に対する評価は、イデオロギーが関連していることが推測できる。

表9: 山本太郎議員に対する評価の重回帰分析

変数	係数	標準誤差	P値
年齢	0.03	0.03	0.41
性別（男）	-0.48	0.70	0.49
イデオロギー	-0.20	0.13	0.13
切片	1.63	1.91	0.40
決定係数	0.03		
サンプルサイズ	49		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

表9からわかるように、どの変数も有意ではなかった。山本太郎議員に対する評価は、年齢、性別、イデオロギーどれにも関連がないことがわかる。

表10: 蓮舂議員に対する評価の重回帰分析

変数	係数	標準誤差	P値
年齢	0.02	0.04	0.65
性別（男）	0.62	0.77	0.42
イデオロギー	-0.33	0.14	0.02 *
切片	2.43	2.08	0.25
決定係数	0.05		
サンプルサイズ	49		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

表10より、イデオロギーが有意である。蓮舂議員の評価は、イデオロギーと関連があることが考えられる。

- (2) 自民党所属と岸田文雄首相、都民ファースト所属と小池百合子東京都知事、立憲民主党所属と蓮舫議員の単回帰分析結果
次に、所属政党の政治家に対する政党所属の影響をみる。表11から表13はその結果である。

表11: 自由民主党所属と岸田文雄首相の単回帰分析の結果

変数	係数	標準誤差	P値
自民党所属	3.38	0.93	0.00 ***
切片	2.42	0.40	0.00 ***
決定係数	0.19		
サンプルサイズ	53		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

表11より自由民主党所属が有意である。よって、岸田文雄首相の評価は自由民主党所属と関連がある。

表12: 都民ファースト所属と小池百合子東京都知事の単回帰分析の結果

変数	係数	標準誤差	P値
都民ファースト所属	6.18	0.80	0.00 ***
切片	2.24	0.40	0.00 ***
決定係数	0.52		
サンプルサイズ	53		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

同じく、表12からわかるように、都民ファースト所属が有意である。よって、小池百合子東京都知事の評価は都民ファースト所属と関連がある。

表13: 立憲民主党所属と蓮舫議員の単回帰分析の結果

変数	係数	標準誤差	P値
立憲民主党所属	3.55	0.81	0.00 ***
切片	1.70	0.32	0.00 ***
決定係数	0.26		
サンプルサイズ	50		

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

表13より、立憲民主党所属が有意である。よって、蓮舫議員の評価は立憲民主党所属と関連がある。

(3) 自由回答の分析(補遺参照)、ロジスティック回帰分析

最後に、「理想とする政治家」(自由回答)に挙げられた人物が日本人か否か、現役政治家か否か、を回答した議員の属性で説明することを試みる。

- 日本人か否か

表14: 日本人か否か分析した結果

変数	係数	オッズ比
年齢	-0.001	1.00
性別(男)	0.245	1.28
イデオロギー	0.007	1.01
切片	0.687	1.99
AIC	36.765	
サンプルサイズ	34	

: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$, *: $p < 0.001$

分析の結果(表14)、理想とする政治家が日本人か否かにその人の属性が関連することはないことが判明した。

- 現役か否か

表15: 現役か否か分析した結果

変数	係数	オッズ比
年齢	-0.003	1.00
性別（男）	-0.201	1.28
イデオロギー	-0.008	1.01
切片	0.955	1.99
AIC	61.685	
サンプルサイズ	34	

: $p < 0.05$, *: $p < 0.001$

分析の結果(表15)、理想とする政治家が現役か否かにその人の属性が関連することはないことが判明した。

(4) 分析結果のまとめ

(1) の分析結果

全ての分析結果に共通することとしては、イデオロギーがその人の評価に影響することが判明した。特に、岸田首相に関しては、イデオロギーが特に関連しており、さらに年齢が影響していることもわかる。山本議員に関しては、どの変数にも有意な結果が得られなかった。

(2) の分析結果

全ての結果において、その議員が属する会派の人たちの評価が大きく影響していることがわかった。同じ会派に所属している議員は、自分の会派と同じ議員の評価を高くする傾向があると言える。

(3) の分析結果

理想とする議員が日本人であるか否かに関して影響する変数がなかったため、理想とする議員を選ぶ時のその人の属性は関連がないと言える。また、理想とする議員が現役であるか否かも同様で、理想とする政治家が現役政治家であるか歴史上の人物であるかに関してその人の属性は関連がないと言える。

7. 結論と含意

以上の結果より、議員への評価は、イデオロギーによって決まることがわかった。さらに、岸田文雄首相に対する評価では、どのイデオロギーであるかが強く関連しており、年齢も関連がある。山本太郎議員に関しては、どの変数にも有意な結果が得られなかったことから、山本太郎議員と同じ会派が今回調査した人たちの中にいないことが原因だと考えられる。また、同じ会派であるかどうかにも関連があることが(2)の研究結果より言える。やはり、同じ会派に属している者同士は同じような考えや目標を持っているため、自分と同じ会派に属している人に対する評価へ強く影響することが考えられる。ここから、評価に会派が関連するという仮説は支持されたと言える。

一方で、議員に対するインタビューでは、自分が所属している会派に賛同できない部分があるが、筆頭として自分の会派で活動している人を攻撃することは簡単なことではなく、強く否定することができないと発言があった¹。このことから会派の中でも自分の会派の一部の考えに疑問を抱いたり、不満に思ったりしている議員がいて、会派内での意見の食い違いが見られることもあるので、必ずしも、自分と同じ会派に所属しているからといって評価を高くするわけではないことが考えられる。

理想とする議員の分析では、その人物が日本人であるか否かについての分析と現役であるか否かの分析を行った。その結果、日本人である人、また、現役である人を選んだ者同士に共通の特徴はないことがわかり、それぞれが自由に理想とする人物を挙げていることがわかった。また、ここで名前が上がった人たちは、何らかのリーダーを務めた経験を持っている。このことから、理想とする人物を決めるときは、その人物のリーダー性を理想として述べている可能性がある。

¹ A議員 取材日時:2022年7月22日

補遺

表16: 自由回答で「理想とする議員」として挙げられた政治家の一覧表

「理想とする議員」の一覧表	
安倍晋三	石原慎太郎
アーダーン首相	大河原まさこ
小倉まさのぶ	尾崎行雄
小淵恵三	カール・マルクス
木原誠二	国光あやの
小池晃	小池百合子東京都知事
小宮山洋子	澤井正代
志位和夫	瀬長亀次郎
高市早苗	田中角栄
チャーチル	中野正剛
長妻昭	ネルソン・マンデラ
野田佳彦	マーガレット・サッチャー
メンケル元首相	山口なつお
山本宣治	

参考文献

河原国男、2010、「M.ウェーバー『職業としての政治』の政治教育思想とその史的意義：「実証」を通じての政治指導者形成の思想」『教育学研究』77巻3号 p. 255-270.

前田幸男、平野浩、2015、「有権者の心理過程における首相のイメージ」『選挙研究』31巻2号 p. 5-18.

山本圭、2020、「指導と民主主義」『年報政治学』71巻2号 p. 2_82-2_99.